

関係各所属長 様

群馬県柔道連盟
会長 鳥居 吉 二

2021年度第18回全国小学生学年別柔道大会群馬県代表選手選考会（無観客試合）改訂版

1 日 時 令和3年6月27日（日）9時開館 男女ともに10時45分開会式
審判・監督会議 10時20分（第4会議室にて）

2 場 所 ALSOKぐんま武道館 第1道場

3 主 催 群馬県柔道連盟

4 実施種別

- (1) 小学6年生男子45kg級 (2) 小学6年生男子65kg級 (3) 小学6年生男子65kg超級
(4) 小学6年生女子40kg超級 (5) 小学6年生女子55kg級 (6) 小学6年生女子55kg超級

5 参加資格

- (1) 群馬県柔道連盟を通し、全日本柔道連盟に団体登録をした団体に所属、競技者登録をした者及び登録申請中の者。今年度は大会上位入賞者などの参加人数の制限は設けない。
(2) 選手の年齢区分は、2009年4月2日以降に生まれた小学6年生に在籍している者。
但し、帰国子女等についてはこの年齢制限を適用せず、学年による種別に出場できる。
(3) 所属長は大切な成長過程にあることを重視し、減量を行わない等、健康に十分な配慮を行い、保護者の承諾を得ていること。
(4) 所属チームの監督1名、コーチ1名が新型コロナウイルス感染症対策を講じ、引率できること。
(5) 参加選手1名につき保護者等1名が新型コロナウイルス感染症対策を講じ、引率できること。
(6) 以下の新型コロナウイルス感染症対策を遵守できる者
①観客席で空けて座る等、密閉・密接・密集の「3密」をさける。
②顔に触れる前に手指衛生の徹底をする。
③試合時以外のマスクの着用をする。
④館内での飲食はしない。（熱中症予防のための水分摂取は可）
⑤別紙、健康状態申告書の提出、健康観察期間（6/13～）及び大会当日に37.0度以上の発熱があった場合は入場かつ試合に出ることはできない。

6 日 程 ※男女ともに更衣室利用不可のため自宅より柔道着着用（男女ともに入場・受付）

- ①9時に2階入口より所属ごとに監督・コーチ・引率者と共に入場、手指消毒、検温の実施
②健康状態申告書で確認（監督・コーチ・選手引率者・選手の別紙4枚を提出）
③2階より（下足は各自準備したビニール袋に入れて保管）男子は1階の第1道場へ降りて計量、
女子も1階の医務室へ降りて計量（武道館1階正面入口から入り右折、突き当り右側）
④計量を終えた選手より第1道場で10時15分まで準備運動

7 審判規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び「国内における少年大会特別規定」を適用する。
(2) 試合時間は3分間とし、原則としてトーナメント戦とする。（参加人数によってはリーグ戦）
(3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」「判定」とする。
「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差以下であれば旗判定で勝敗を決定する。（延長戦は行わない）
（「指導」数によって勝敗が決する例＝0対2）（「指導」数に差が出ても判定になる例＝0対1、1対2）

8 表 彰 1位、2位、3位（2名）の計4名を表彰する。（表彰式は行わない）

9 組 合 せ 令和3年5月18日（火）19時よりぐんま武道館第4会議室において県柔道連盟ジュニア育成強化委員で行う。

10 参加申込

(1) 申込期日

令和3年5月17日(月)までに以下リンク先のグーグルフォームより申し込むこと。

<https://forms.gle/VfmWmZbVJS2yM7cN7>

(2) 申込手順

- ①Googleアカウントを取得するか、所属の関係者で使用されているGoogleアカウントでご入力ください。他の会社のアカウントでは申込された内容のコピーが受信できないことがあります。
- ②参加人数分を入力後、一番下までスクロールして必ず「送信」ボタンをクリックしてください。
- ③申込フォームの「送信」直後にGoogleフォームから最初に入力したメールアドレスに自分が回答した内容のコピーが届きます。これで申込が完了です。

11 参加料 1名 1,000円を2階入口受付時に納入する。

12 柔道衣コントロール・計量

- (1) 時間：男女ともに9時15分から9時45分までとする。
- (2) 場所：男子は第1道場、女子は医務室にて計量する。
- (3) 男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用で、時間内であれば何度計っても良い。
- (4) 男女ともにマスク着用にて柔道衣コントロール、計量の順に行う。
- (5) 女子の柔道衣コントロール時に併せて髪の確認をします。襟にかからないようにまとめること。

13 大会中止・延期条件

群馬県教育委員会等からの要請があった場合や群馬県柔道連盟が群馬県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。その他、全日本柔道連盟「新型コロナウイルスへの対応について」(資料1)段階的練習再開・試合再開 P24「4. 試合上の留意点」を参考に決定する。

14 ゼッケンについて ゼッケンは各自で下記要領にて必ず縫い付けること。(無ければ失格とする)

- (1) ゼッケンのサイズは、概ね横30cm～35cm、縦25cm～30cmとする。
- (2) 縫い付け位置は後襟から約5cm～10cm下部とし、対角線にも縫い付けること。
- (3) ゼッケンの表記は上部2/3に苗字、下部1/3に所属名を記載すること。

15 その他

- (1) 各階級の優勝者は、令和3年8月29日(日)に大阪府・堺市立大浜体育館で行われる全国大会へ出場する。また、各階級の優勝者の保護者は大会終了後に以下のLINEのQRコードを読み取り、群馬県柔道連盟強化部長黒田(Keiichi Kuroda)まで友だち追加登録をする。
- (2) 主催者は、選考会中の不慮の負傷・疾病について応急処置を施すとともに傷害保険の範囲内の責任を負うものとする。
- (3) 万が一の事故の発生に備え、参加選手独自で傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- (4) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - (a) 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - (b) 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、脳神経外科の専門医の精査を受けること。
 - (c) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - (d) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (6) 問い合わせ先：群馬県柔道連盟強化部長 黒田圭一 090-3098-6302

LINE

